

令和4年度 学校評価 自己評価書（通期）

1 学校の重点目標

- 主体的に課題解決に取り組み、共に学び合う子供の育成
- 思いやりの心を持ち、決まりを守って進んで協力する子供の育成
- 自ら運動に挑戦し、健康で安全に生活する子供の育成

2 課題と改善策 1.0（そう思わない） ～ 2,5(中間値) ～ 4.0（そう思う）

	評価項目	児童	保護者	職員	評価結果と改善方策
すすんで勉強	1 よく聞き、進んで学習	3.3	3.2		・ 相手を見る・うなずくといった望まれる姿の習慣化を図ることができた。
	2 意見の発表	2.8	3.2	2.8	・ 対面形式の話し合いを控えざるを得なかったが、ロイロノートの活用で情報共有を行えた。
	3 机上や身の回りの整理整頓	3.3	3.1	2.7	・ 下校前に片付けをする時間を設ける等の工夫を行った。
	4 家庭学習の取組	3.3	3.3	2.9	・ AIドリルnavimaを活用したり、ロイロノートを通じて課題を出すなどの工夫を行った。
ゆたかな心	1 挨拶や返事	3.2	3.3	2.7	・ 総務委員会による挨拶運動の取り組みが図れた。地域の方々の関心も高く、その声を児童にも伝えてきた。
	2 友達や周りの人たちへの接し方	3.3	3.2	2.8	・ 言葉遣いについては、保護者からも本校児童の課題として挙げられている。月別の生活目標での取組を強化したい。
	3 ボランティア活動	3.0	3.1	2.9	・ 高学年が「朝ボラ」として校舎内の清掃に取り組み、下級生の良い手本となった。
	4 履物を揃える	3.2	3.2	2.9	・ どの学年の靴箱もきれいに靴が揃えられている。次年度も月別の生活目標での取組を強化したい。
	5 読書への取組	3.3	3.3	3.2	・ 貸し出しの制限を若干せざる負えなかったが、貸出総数は昨年度とほぼ同じであった。担任が授業で積極的に利用した結果だと思われる。
	6 決まりを守る	2.8	3.2	2.8	・ 「よい子のきまり」を一部見直した。年9回のアンケートを基に今後も落ち着いた生活ができるよう指導していく。
たくましい体	1 運動習慣の定着	3.2	3.4	3.1	・ 全校体制で、朝のかけあしや一校一運動のなわとびに取り組み体力向上を図ることができた。
	2 規則正しい生活	3.5	3.3	2.9	・ 保護者に生活習慣の大切を改めて考えてもらえるよう、学校保健委員会等を通じて啓発を行った。
	3 交通ルールや廊下歩行	3.4	3.3	2.7	・ 登下校時に危うく大事故に繋がるような事案があった。常に交通事故防止について指導していく。
	4 無言清掃の取組	3.2	3.3	2.8	・ 清掃指導週間での取り組み姿をどう継続させていくか。特に無言清掃の徹底を図る。

3 次学期（年度）に向けての取組

- 授業改善では、「個別最適な学び」と「協同的な学び」を効果的に実施したり、ICTの研修を深め、最大限に活用したりして、「主体的」「対話的」な授業推進に取り組んでいく。
- アンケートの活用やタブレット端末を使ったニコニコチェックを活用し、教育相談や生徒指導を充実させ、不登校の未然防止や通常登校へ繋がるよう取り組んでいく。